

多国間歴史教育・教科書の対話 ～東アジア・ヨーロッパ・中東～

プログラム

[10月22日]

■開演 09:30 - 10:00	開会の挨拶 エッカート・フックス (ゲオルク・エッカート国際教科書研究所) 歓迎挨拶 儀 義文 (子どもと教科書全国ネット 21) 祝辞 鄭 在貞 (東北アジア歴史財団)	■第四部 14:30 - 16:30	議長: 儀義文 (日本) 東アジアにおける共通歴史教科書 『『未来をひらく歴史』の成果と新たな段階へ向けた取り組み』 笠原十九司 (日本) 「国境を超える歴史認識の可能性と現実」 歩 平 (中国) 「歴史事実と歴史認識における民族感情」 金以林 (中国) 「東アジアにおける共通歴史教材の意味と展望」 辛珠栢 (韓国)
■第一部 10:00 - 10:45	議長: 歩平 (中国) UNESCO 教科書活動 「二国間・多国間教科書活動の使命」 ノロ・アンドリアミセザ・インガラオ (UNESCO)	16:30 - 17:00	休憩
■第二部 10:45 - 11:30	議長: 歩平 (中国) フランス=ドイツ歴史教科書 「意欲的な目標と厳しい現実の狭間で」 ロルフ・ヴィッテンブロック (ドイツ)	■第五部 17:00 - 18:30	議長: 桜井千恵美 (日本) 日本・韓国の共通歴史教材の開発 「日韓共同歴史教材づくりの経過と課題 —生徒たちの目をとおして歴史教育の内容と方法を見直す—」 平野昇 (日本) 「共同歴史教材を通じた歴史認識の共有可能性の探求 —『向かいあう日本と韓国・朝鮮の歴史』を中心に—」 朴中鉉 (韓国)
11:30 - 12:00	休憩		
■第三部 12:00 - 13:30	議長: 齋藤一晴 (日本) ドイツ=ポーランド歴史教科書 「ドイツ=ポーランド歴史教科書 希望的観測?それとも現実的なプロジェクト?」 ハインリヒ・ポール (ドイツ)		
13:30 - 14:30	昼食		

[10月23日]

■第六部 09:30 - 11:00	議長: ダニエル・リンデンマーク (スウェーデン) イスラエル=パレスチナ共通教科書活動 「紛争下における教科書と体験談」 パレスチナとイスラエルの取り組み～可能性、挑戦と経験」 サミ・アドワン (パレスチナ) 「二つの『語り』アプローチ」における歴史記述と歴史教育 ～中東平和研究所における私の体験～」 シャイ・バルッフ・ミセルマン (イスラエル)	■第八部 13:45 - 15:15	議長: 野平晋作 (日本) 共通歴史教科書活動 「地域共通歴史教科書の創生は可能だろうか —ヨーロッパ歴史教科書をケーススタディとして」 エッカート・フックス (ドイツ) 「東アジアにおける共通歴史教科書作りのための覚え書き」 キム・ミンギョ (韓国)
11:00 - 11:15	休憩	15:15 - 15:45	休憩
■第七部 11:15 - 12:45	議長: キム・ミンギョ (韓国) バルカンの共同歴史プロジェクト 「バルカン半島諸国における共同歴史プロジェクト: 地域史とナショナルアイデンティティ」 ミレーラ・ムルゲシュ (ルーマニア) 「共通の未来のための異なった歴史 —バルカンの経験—」 メリッサ・フォリッチ (ボスニア・ヘルツェゴビナ)	■第九部 17:45 - 18:00	議長: スヴェン・サーラ (フリードリヒ・エーベルト財団) 共同教科書活動の未来 導入: スヴェン・サーラ 討議
12:45 - 13:45	昼食		閉会の辞 鄭 在貞 (東北アジア歴史財団) 吉岡達也 (ピースボート)